

児童生徒課 創造活動係

令和5（2023）年度

創造活動だより

VOL.2



グループ活動で植えたゴーヤとサツマイモの苗が、ぐんぐんツルを伸ばしていています。その青さに、生命の躍動感を感じます。文化館いぶきの創造活動に通う子どもたちは、毎日生き生きと活動を楽しみ、1学期のふり返りを始めています。

創造活動のグループ活動は7月7日（金）で終了し、学校の終業式までは登校チャレンジ期間としています。2学期は8月18日（金）に始まり、始業式に向けて準備をする期間を設けています。さまざまなチャレンジを、見守り応援しています。



色鮮やかな^{あじさい}紫陽花の姿も終わりを告げ、駆け抜けるように、開放的な夏がやってきました。創造活動にも、にぎやかな子どもたちの声が響いています。

子どもたちを見守っていると、前の姿より、成長している様子を感じます。以前は気持ちが悪かった学校に、“週に1日行く”と自分で決め、チャレンジしている姿。“みんなと同じ形”は難しいけれど、“この形ならやれる”と、自分に合う形を見つけ、登校や学習に取り組んでいる姿。ドキドキしながら、はじめてグループ活動にチャレンジし、仲間とのかかわりをスタートさせた姿。自分の悩みに向き合っ、真剣に考えている姿。葛藤し、悩み、立ち止まっている姿。私たちが想像している以上に、成長した姿を見せる子どもたちに、驚かされるばかりです。

私たちスタッフは、出会ったばかりの保護者の方によく、“スモールステップで進めていきましょう”とお話します。けれど、立ち止まり、動けなくなってしまう子どもたちの姿を見ると、周りで支える大人たちは、もどかしくなってしまうことも多いと思います。

子どもたちの歩みはゆっくりで、ゴールまで一足飛びにはいかないことも多いです。一段一段、ゆっくり階段を上り、踊り場で立ち止まってしまうことも、多々あります。けれど、立ち止まり考えること、悩み葛藤することも、とてもとても、大切な時間だと思うのです。無駄な時間なんてない。そんな風に思います。

私たちスタッフは、日々の活動の中で、できることが増えた時には、“すごいやん！”と一緒に喜び、動けなくなってしまう時には、“どうすればいいか、もう一度一緒に考えよう”と、何度でも一緒に考えます。

前を向いて歩いていける時も、立ち止まってしまった時も、どんな時も変わらず、子どもたちに寄り添っていきたくと思っています。

